

スカウターの諸君

六甲山へようこそ。

この六甲山は、1868年に日本に来た私をはじめ、神戸居留地にすむ多くの異邦人によって、開発されてきた山である。

私は、三国池端に別荘を構え、草木を取り、石をのぞいて、山上に道を開いた。そして、4ホールではあったが、日本最初のゴルフ場を作るに至ったのである。さらに、居留地仲間と共に、この山を跋涉したのが、日本の登山の発祥になった。私が英国にいたときは、まだボーイスカウトは生まれていなかったが、聞くところでは、少年の時期から開拓者精神を養っているとか。もう少し早くボーイスカウトができていたら、私もきっと隊員になっていたに違いない。

今の六甲山は道路が完備し、ケーブルやロープウェイに乗れば、ハイヒールでも登れる山になってしまった。それはそれで、山を楽しむには良いと思うが、私はいつまでも、山は、分け入るフィールドであって欲しいと思う。

今日のハイキングでは、諸君の実力を見せてもらいたい。実力しだいでは、諸君をはじめ、ボーイスカウトを、開拓者精神の継承者として、認定したいと思う。

A. H. Groom